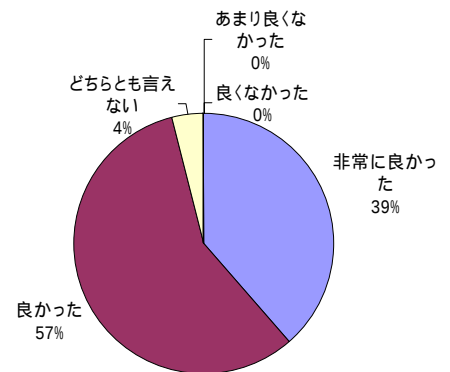


土木文化講座「歴史と道」アンケート集計結果

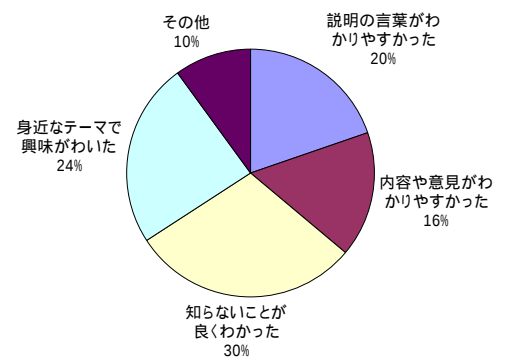
質問１．今日の土木文化講座全般について、いかがでしたか。

非常に良かった	41 名
良かった	61 名
どちらとも言えない	4 名
あまり良くなかった	0 名
良くなかった	0 名



質問２．質問１で ， に○をつけた方に伺います。どういう点が良かったですか。（複数回答あり）

説明の言葉がわかりやすかった	34 名
内容や意見がわかりやすかった	28 名
知らなかったことが良くわかった	51 名
身近なテーマで興味がわいた	42 名
その他	17 名



文化・歴史の話（3 名）、民話・説話の話（2 名）

道路の価値についての再認識（2 名）

経済学者からみた道の価値観について（2 名）

まちづくりのプロセス（1 名）、ぶらくり丁の活性化（1 名）

足立先生の体験を交えた熱っぽい話（2 名）、海外の街との比較（1 名）

大門川、丸正百貨店の何億という価値（数値）の内容を知りたかった。

今まで土木学会がこの様な講演を開催しているのを知らなかった。もう少し PR も必要では。

質問３．質問１で ， に○をつけた方に伺います。どういう点が良くなかったですか。

説明の言葉がむずかしかった	1 名
内容や意見がわかりにくかった	2 名
すでに知っていることだった	0 名
テーマに興味がわかなかった	0 名
その他	4 名

スクリーン・レジメ資料の字が見えにくい（小さい）

少し専門的で興味がなかった。

道の価値と言うことが良くわかったが、話があちこちに飛びすぎる。もう少しテーマを絞って欲しかった。

高齢者には聞きづらい。話のテンポををもう少しゆっくりとお願いしたい。マイク・スピーカ－の調整もお願いしたい。

質問4．講演会については、いかがでしたか。

良かった	100名
良くなかった	0名
まあまあ	1名
無回答	5名

質問5．講演会の時間については、いかがでしたか。

短かった	13名
ちょうど良かった	85名
長かった	4名
無回答	4名

質問6．あなたは「土木」に対してどんな印象を持っていましたか？またその印象は今日の土木文化講座でどのように変わりましたか？

【肯定的意見】

私たちの生活と少し離れていたが、道を通じて身近に感じられた（2名）。

大きな公共性のある工事の印象。身近なものに感じました。

土木とはダムをつくるイメージだった。道という身近な存在となった。

「作業」という印象しかなかったので、プラス何かがあるという様になった。

「土木」を漠然と考えていたが、「土木」の考え方が変わった。

講座前：重い、かたい、泥があるというイメージ。講演後：時代にあっている研究がされている。科学的で新しいイメージ。

あまり関心がなかったが、足立先生のお話を聞いて道について関心を持ちました。

今回の講演で自分の眼で確認し、土木作業を見直した。

事務的、あるいは物理的なものとしてしか考えていなかった。まちづくりを含めて「土木」はメンタルな要素も必要ということがわかった。

道路をつくるハード面での事業を行うところ。文化・歴史をも含めた道づくり、街づくりにつながるということがわかりました。

建築関連の土木という印象で広義での道路土木という意味合いを理解できました。

身近な公共施設「道」に興味を持てました。道は自分たちがつくるものだと思いました。

土木とは土木工事と思っていた。人と歴史観ができた。

土木と道の関係について知りました。

全く門外漢ですが関心はある。環境づくりの基本であり、大切な仕事と思っている。

土木も文化に興味を持っていることを知り、心強かった。

土木ということに今まではあまり意識していなかったが、熊野古道が世界遺産になったので興味がわき、本日聞かせて頂きました。

「道」に対する評価、価値（便益）はどのように出すのかある程度理解できました。

橋・道・公共・便利・硬い感じがしましたが、1本の道＝憩う、心がほっとする。個人個人にやさしい楽しい街になるといいですね。

神坂先生のお話はとても勉強になった。熊野に誇りを持ちました。道の話が思っていた以上に

おもしろかった。イギリスの話は知らなかったことばかりでおもしろかった。
道についての思い（価値）のあることに気づきました。
歴史的なことを掘り起こし、それにより道をつくっていくということになるほどなあと思いを
新にしました。
県事務所の土木出張所という名称は知っていた。水害後とか開発は土木でなくてはできないと
思っている。
土木は生活の基礎であるとの印象を持っている。土木は物理的なものであると思っていたが、
文化的なものであると認識した。
土木＝ゼネコン。国道から林道までの見方が変わるようになると思う。
個人の宝ではなく皆の宝探しをしながら。これから歩いてみようと思います。
経済と文化の進展に欠かせないもの。
社会の発達の基となる社会資本の形成に重要な役割を果たしている。
より高度な価値を求めていることがよくわかる。
足立先生から学術的な観点から道の価値をおもしろく拝聴しました。更に先生がいわれるよう
に、神坂先生から和歌山の価値を詳しく伺いました。充実したひとときでした。
一般的にゼネコンなどの印象が残っており、悪い印象は少なからず残っているが、土木建築技
術や工学の方面になると技術水準が高く悪い印象を払拭するのに十分な力量があると思う。少
しは理解できるような感じがしてきた。
「文化」とは対極の位置にあると思っていました。高速道路やアスファルト道路をつくるのが
仕事でそうしないと利益が得られないから。
土木の文化的側面、道は文化の道でもある。
身近なことからも色々考えることができるのですね。
公共財（１名）、土木工事の重要性（１名）、国づくりの原点（１名）、道（１名）

【否定的意見】

一般的ではない。PR 不足ではないか、こんな文化的な催しを行っているのに。
技術的な関心を持っていなかったため馴染みが少なかった。
土木の価値、生活とのかかわりについて考え直す必要があると思う。
別に印象はない。今回の講演は「土木」というより「文化財」に関する講演という感じでした。
無駄の多い工事ばかりしている。税金をもっと上手に使って欲しい。先生の話のように便益を
真剣に計算して単に地元の要求や国の予算をもらいたいからと言って必要のない道路をつく
らないで欲しい。本当に必要なものをつくって下さい。
ゼネコン、箱づくり行政の気分の良くない印象。本日のところ変化なし。
土木の現状、中身をよく知らない。無駄な金遣いをしている政治家の資金源となっているよう
なダークなイメージを持っている。
年度末になると側道を掘り返す。交通渋滞の原因だ。従来からだもって時期的にばらまけ。
毎年３月に予算消化のために道をつくっているというイメージ
もう少し考えて残すものと、新しくつくるものを区別すればという印象。
直接身近な存在ではない（１名）、殺伐イメージ（１名）

質問 7 . 今後参加したい講演会の内容があればお書き下さい。

和歌山の歴史や文化について講演会 (例 和歌山城 , 紀ノ川 , 紀州徳川家) (6 名)

歴史と文化講演会 (2 名) , 熊野の歴史 (1 名) , 修験道・高野山・空海の歴史 (1 名)

地域や古い街の活性化 (2 名)

歴史的建物 , 文化財に関係した講演会 (2 名)

今日のような内容 (2 名)

郷土 (1 名) , 地域文化・地域政治経済 (1 名)

森林と川の話 (1 名) , 人工林と自然林 (1 名)

古代の道 (1 名) , 塩街道 (1 名)

実際に道をつくった (改良した) 前後の効果 , 道路行政に関わる講演会

脱ダムの話 , 自分たちの環境に係る内容

地震関係

ネームバリューのある人物の講演会 , 例えば安藤忠雄など , 関西出身の建築家などの企画

四県持ち回りとのことですが和歌山放送で知りました。和歌山でやる場合は和歌山放送で PR すると思いますが , 和歌山で行う場合のみと思う。インターネットならわかりよいと思うので封筒の TEL・FAX の下にアドレスを入れたら PR になる。

何でも企画して欲しい。それを見てまた参加する。

質問 8 . 当支部では土木の工事現場や施設の見学会を実施しています。見学してみたいと思われる土木の工事現場や施設があればお書き下さい。

京奈和自動車道 , 第二阪和道路等の道路工事現場 (8 名)

トンネル工事現場 (7 名)

文化財 (旧家 , 神社) 保存・修復工事 (4 名)

ダム (3 名) , 吉野山系のダム工事の地盤沈下

地震対策 (免震制震構造) 等の見学 (2 名)

空港 (2 名)

黒江 , 南紀・熊野地方 (2 名)

足立先生の話のような , みちづくり , 町づくりの成果が見える場所の見学

亀ノ瀬地すべり対策工事現場 (1 名) , 紀ノ川大堰 (1 名) , 海中建築物 (1 名)

見学会などを新聞で教えて欲しい。

わからないが見学会に参加したい。

質問 9 . 今日の土木文化講座を何で知りましたか ? (複数回答あり)

新聞	73 名 [ニュース和歌山 57 名 , その他 16 名]
チラシ	7 名 [県文化展 2 名 , 和歌山放送 3 名 , 市民会館 2 名]
インターネット	2 名 [土木学会関西支部からのダイレクトメール 2 名]
ラジオコマーシャル	5 名 [和歌山放送 5 名]
その他	16 名 [友人の紹介 10 名 , 足立先生の紹介 2 名 , 会場で 2 名 , その他 2 名]
無回答	5 名

質問 10 「土木」についてもっと知りたいことや質問があれば自由に書いて下さい。また、今日の講座についても、もっとこうして欲しいなどのご要望があれば書いて下さい。

【土木文化講座に関する意見・苦情】

神坂先生は有名な作家で素晴らしい小説を書かれますが、講演はお年を召されているせいかわかりづらい点もありました。提案ですが、和歌山大学の非常勤講師で小山先生という方がおられるのですが、この先生は和歌山の歴史に非常に詳しくぜひ今後招待して頂きたいと思います。ちなみに足立先生の講演はわかりやすく良かったです。

各地の地域らしい土木を講演のテーマとしてこれからも土木文化講座をして欲しい。

講演のアピールをもう少し大々的にやって欲しい。工学部分を先頭に立てた講演会やシンポジウムを増加させ、ゼネコンの悪い印象の払拭を図って欲しい。

このような文化的な催しを行っている事実を知らなかった。土木にからむ（技術的な話は除外）エピソード（よく知っている工事等）等取り上げて欲しい。

もっと広く「宣伝」すると良いと思う。もっと大勢の人に知ってもらうように。

参加人数と席の数が合っていなかったのではないのでしょうか。事前申込になっていたのでしょうか。気分を害することがありました。いくら無料とはいえもう少しきちんとして頂きたいですようお願いします。講演会の順序を逆にすればよかったと思います。そうすると本当に熱心な人だけが最後まで残ったのではないのでしょうか。

今日、後方に座りました。イスの置き方について先生のお顔が見られるようにして下さい。

会場が講演向きの会場ではない。パネルが半分しか見えない。説明にレーザーポインターを使って欲しい。長い時間の着席なので座席について考えて欲しい。

老人の多い講演会、細かい字のレジメ、読んでもらってこそ生きるもの、もっと配慮すべきだ。スペースがない裏面を使えば十分だ。神坂先生の話さすがにおもしろい内容だった。

【土木文化講座に関する感想】

神坂先生の熊野の話が大変良かったです。

世界遺産の熊野道を地元にもつ幸福感を感じた。

街の価値を知るということが大切なことがよくわかりました。私の住む紀伊地区はあまり変化がありません。どうすればもっと近代化し便利になることができるのかとか何時も考えています。和歌山の古い街を掘り起こしてお話を聞きたいと思います。

建築より土木の方がわかりにくいのが、今日の講演でよくわかりました。大変よい勉強ができました。

水の力・川にまつわる話。大変興味深い会でした。友達にも知らせてあげたかった。

本日は講演に参加できたことに大変感謝しています。今後ともよくお願いいたします。

文化・歴史のぶらくり丁を再建するよう頑張ってください。

ぶらくり丁の町づくりについて詳しく聞きたかった。進み具合や市民参加できるようなボランティアがあるのかなど。

毎日曜日午前 8:20 からラジオ放送を聞いています。足立先生がゲストですので親しく拝聴しました。足立先生に和歌山の文化を掘り起こすことに尽力を願いたい。県民も行政も和歌山の歴史を守り、掘り起こす、活かすことに消極的に感じる。和歌山は工業で生きることがむずかしいので、自然・歴史・文化を主テーマにして注目させるより仕方ない。

和歌山に住んでいながら知らなかった熊野について詳しく丁寧に仰って頂いてすごく貴重な体験になりました。「土木」となると関わりにくいと思いがちになりますが、こういった講演をして頂くとすごく身近に感じられ、勉強になりました。

土木も建築と同じく展覧会で文化的な要素と知って欲しい。これからの土木工事が如何に文化的な作品となるかを具体的に現場で示して欲しい。

「道づくりと町づくり和歌山での取り組み」おもしろくない。参考にもならないし、興味もない。「熊野わが旅」本当によかった。今後も聞きたい。よく理解できた。具体的な逸話大変参考になった。

【その他の意見】

今日の講演は大学の教授や作家によるものでした。土木学会、実際に土木に関わっておられる方はこういった「歴史・文化」等に関心がおありなのでしょう。こういった文化面からのアプローチ、共感するところも多いのですが、現場に立っておられる方はこういったことに無関心だという印象がありますが、どうでしょうか。

「土木」とはどういうことかわからない。（何となくわかりましたが）県民にとってもっと近いところで理解していただけるような広報活動が不足しているのでは？例えば、今どこでどういう土木工事をしているか。こういう問題を解決しようとしているとかPR的なことが大事では？

道の価値は経済的見地から判断するだけでなく、センチメンタルバリューを付加した積極的に考えて道路開発をすべきだ。年度末の道路工事は計画性の無さの証、土木は大きなお金の動くものであるだけに慎重に。先を見越した計画の上で事業を行って欲しい。

紀ノ川に新しく橋ができたが、まだまだ橋が少ないと思います。南海地震が心配されているとき、和歌山～大阪を結ぶ橋が必要です。毎年度末掘り返されたりしている道（同じ場所）を見るにつけ、より重要と思われる大阪方面と結ぶ道路（橋）を考えて欲しいと切望します。神坂先生の講演も和歌山の誇れる話に目を開かれた思いで楽しかったです。

熊野古道の整備でコンクリートで石の間を固めたりしている。もっと丁寧にしたい。

ぶらくり丁の一部だと思いますが開店前の店頭掃除でモップ掛けしあっている所がある。講演にあった「向こう三軒両隣」の名残でしょうか。そして、午後どこかの学校の放課後、自転車で乗りつけてきた生徒達によってゴミだらけになるのが残念。

伊沢ヤソ兵衛の伝記を書いて欲しい。神坂先生に。

京奈和道路の計画から完成（予想）まで。

もう一度歩きたい大雲取越え、小雲取越え。